



2017年9月29日

国立研究開発法人 建築研究所国際地震工学センター

第149号

〒305-0802 茨城県つくば市立原1 TEL 029-879-0678 FAX 029-864-6777

今月の話題

- 石井国土交通大臣表敬訪問
- 12カ国21名の研修生が1年間の国際地震工学通年研修を修了
- 学位記授与式—政策研究大学院大学—
- 元国際地震工学センター井上公氏の近況報告

研修データベース

IISEENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

Eラーニング

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

地震データベース

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

石井国土交通大臣表敬訪問

国際地震工学センター 管理室長 飯竹 理広

毎年、地震工学通年研修では、研修の修了にあたり、母国の将来を担う研修生の励みとするため、国土交通大臣表敬訪問を実施しています。

今年は、9月8日(金)に石井国土交通大臣を表敬訪問しました。研修生は、大臣から、研修成果や研修生相互のネットワークを活かし、それぞれの国の地震防災対策のリーダーとして活躍して欲しいと激励され、21名すべての研修生が握手をしていただきました。

また、研修生を代表して、ペルーのナビルトさんから、災害リスクの軽減について学ぶ機会を与えていただいた御礼や、自国ペルーにて、日本の、この強い防災意識を、普及すべく努力する旨の決意が述べられました。

石井大臣のお言葉にもありましたが、研修生には今後、日本との交流の架け橋となっていくことが期待されます。



ナビルトさん



石井国土交通大臣表敬訪問

論文募集

IISEE Bulletinは、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。

12カ国 21名の研修生が1年間の国際地震工学通年研修を修了

国際地震工学センター 管理室長 飯竹 理広



閉講式

昨年10月4日からスタートした地震工学通年研修の閉講式が、9月13日(水)に建築研究所で行われました。研修実施機関(JICA 筑波、GRIPS、BRI)の関係者が列席して行われた修了式では、この研修に参加したすべての研修生に対して、研修修了証と科目履修証が授与されました。

この研修に選ばれて参加した研修生は、地震学、地震工学、津波防災の3つのコースに分かれ、それぞれの専門性を考慮した講義を受講するとともに、平成23年東北地方太平洋沖地震や平成28年熊本地震等の被災地を訪れ、被害の状況、復興、教訓等も学びました。1年間の研修期間を通して、すべての研修生は、常に努力を怠らず、母国で抱える個別の課題に対応するための調査研究をまとめました。

研修生の皆さん、国際地震工学通年研修の修了、おめでとうございます。

皆様の今後益々のご活躍をお祈りします。

祝辞：

JICA 筑波 高橋政行 所長、BRI 澤地孝男 理事、GRIPS 春原浩樹 教授



高橋所長

澤地理事

春原教授





楽しむのは今です。

最優秀研究賞：

バビタさん(インド)、サジェッドさん(バングラディッシュ)、
ナビルトさん(ペルー)



バビタさん

サジェッドさん

ナビルトさん

国際地震工学センター長賞：

ホナタンさん(メキシコ)、ディエゴさん(エルサルバドル)、
レオナルドさん(エクアドル)



ホナタンさん

ディエゴさん

レオナルドさん

研修生代表挨拶：マクラドさん (エジプト)

政策研究大学院大学防災管理政策プログラム、春原浩樹教授、JICA 筑波国際センター、高橋政行所長、建築研究所澤地孝男理事、横井俊明国際地震工学センター長、そしてご臨席の皆様、おはようございます。

皆様、このたびはご臨席賜り、心よりお礼申し上げます。皆様のご臨席によって、本日が、より素晴らしい日となりました。2016年度地震、耐震工学、津波防災コースの研修員を代表しまして、卒業の辞を申し上げる機会を頂きましたことを大変、光栄に存じます。わたくしは、来日した時をはっきり覚えており、それは、昨日のように感じます。今まさに、卒業の日で、「光陰矢の如し」を実感します。ここに居ります研修員全員、熱意、大志、期待を持って、日本に参りました、自身の実力を高め、最先端の科学そして技術を取得したい気持ちを抱いて。この研修は、高い目標を達成しなければなりません。それは、修士号を取得すること、そして、自国と、この素晴らしい国、日本との外交的関係を深めることです。日本は、世界においても自然災害に見舞われることが多い国です。しかし、その国は、わたくしたちにお手本を見せてくれました。忍耐、努力、そして勤勉さをもって、困難に立ち向かい、災害で失われた物を復興させていくのです。災害が生じれば、すぐに日本は、新たな志を抱き、世界との競合する力を維持し、さらに進展するために、復興するのです。

連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEEと卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお誘い下さい。

iiseenews@kenken.go.jp
<http://iisee.kenken.go.jp>



マクラドさん挨拶

それが、ここにいる研修員の出身国家が見習いたい、素晴らしさなのです。

私たちの国では、多くの課題があります。災害リスクを減らすための知識、専門家が少ない、研究や技術が不十分である、などです。しかし、日本では、我々の分野の先生、専門家の方々が、最新の技術を私たちに教示するために

扉を開いてくれ、そして、私たちの国が成功、発展するようにその方法を提示してくれるのです。このコースでは、先生方は、私たちにその知識、スキルを余すことなく教えてくださいました。このようなことは、減災分野において、世界でも、包括的に学べる独特なコースといえます。

このプログラムでは、講義、実務的応用、視察旅行、個人研修を通じて、私たちの実力が高められるようになっていきます。そして、私たちは、この一年間で大いに成長したのです。かつ、防災管理政策において基礎となる、防災セオリー、情報技術、かつ、日本の防災政策や制度を見て参りました。さらに、具体的な技術開発、各自治体の状況に適した政策作成への問題解決志向のアプローチを適用するためのスキルも学びました。そうです、私たちは、この一年で多くのことを成し遂げたのです。私たちは、キャリア構築における、修士号取得という最初のマイルストーンに到達できました。これは、人生という旅の主要箇所を通過したことに等しく、それは、達成だけでなく、誇りに思える瞬間です。私たちは、まさに、このマイルストーンに到着するために、努力を重ねてきました。それには、一つも無駄になったことはありません。IISEEおよびBRIが授けて下さった証書は、素晴らしいツールで、人生を歩むうえで、継続して技術を取得できるよう、新たな扉を開いてくれるものです。しかしながら、それは、究極のゴールではなく、やはり、人生の通過点に過ぎないのです。一つの達成とは、人生において、さらなる達成に向けた出発点なのです。ここにいる卒業生は、試練、失敗、心砕けるほどの自信喪失などを超え、心定めたことを達成できることを、今日という記念すべき日に証明できました。努力を重ねれば、何に対しても達成できるということを、それぞれが、今日、提示できたと信じます。人生は続きます。ですので、いろいろな困難に出会うことでしょう。ですが、自信をもってその困難に立ち向かいましょう。私たちは、ここで、多くのことを学び、そして、その未来に立ち向かう必要な知識を得たのですから。

再びではございますが、IISEE、BRI、GRIPS、JICAの皆様には、ご支援、ご指示、ご信頼を、ここにいる研修員全員に、注いで下さったこと、お礼申し上げます。また、ここにいるわが友へ、かけがえのない支援、友情をありがとう、そして、卒業おめでとう。加え、修士号の取得を祝福します。君たちのこれからの人生が幸せに満ちるよう祈ります。

最後に、ある名言をお伝えします。これは、日系人のロバート・キヨサキ氏によるもので、「成功の大きさは、志の強さ、どれほどの夢を抱

くか、そして、その道にある失望への対処の仕方によって、決まってくる。」

皆様へ、心から、お礼を申し上げ、スピーチを終わりに致します。

モハメド・サラ・マクラド

学位記授与式—政策研究大学院大学—

国際地震工学センター 管理室長 飯竹 理広

地震工学通年研修は、独立行政法人国際協力機構及び政策研究大学院大学との連携により、所定の成績を収めれば、修士（防災政策）号を取得することが可能な研修となっています。

昨年10月4日からスタートした地震工学通年研修に参加した研修生の学位記授与式が、9月14日（木）に政策研究大学院大学で行われ、すべての研修生が修士号を取得しました。

これをもちまして、地震工学通年研修 2016-2017 コースのすべての行事が終了しました。本コースの研修実施にあたって、ご尽力いただきました関係者の皆様には、心から感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

成績優秀者賞受賞者：チンタンさん（ネパール）



チンタンさん



元国際地震工学センター 井上公氏の近況報告

国際地震工学センター センター長 横井 俊明

IISEE の元メンバーであった井上公氏が、2017年8月23日にインドネシアを訪問し、パダン州立大学で講演を行いました。また元研修生のラマト・トリョノ氏、アンディヤンシャ・スルフィカ・サバラニ氏等との親交も温めました。



バックナンバーは
下記をご覧ください。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>